

2021年3月期 決算説明会(電話会議) Q&A サマリー

Q: 国内の東北、春日井、四日市工場と海外のCKD中国工場の現在の状況

A: 東北工場は、需要増加を受けて稼働が上がってきております。春日井工場の稼働は高い水準が続いております。空気圧機器を生産している四日市工場も、中国市場の需要が旺盛なため高い水準が続いております。CKD中国工場も同様に高い稼働状況です。

Q: 材料費や物流費高騰の影響

A: 材料価格は上昇傾向です。但し、長期の視点で調達しているため、直近で大きなコスト影響は出ておりません。また、物流費についても影響は軽微です。

Q: 機器 今期業績予想

A: 多少保守的に見ておりますので、需要動向がはっきり見えてきた中で、必要に応じて修正を検討いたします。

Q: 機器 空気圧機器の需要動向

A: 前期4Qは予想よりも良い状態が続きました。また、現在はまだ良い状態が続いているとみておりますので、夏頃に、今後の流れが見えてくるのではないかと考えております。

Q: 機器 市場別予想の考え方

A: 中国などの需要は大きく拡大していますが、高い水準がどこまで続くのか考え、下期を多少抑えて見ております。半導体は堅調、工作機は回復して下期にかけて少しずつ伸びてくると想定、このような考え方で上期と下期を同水準で予想いたしました。

Q: 機器 二次電池向け市場

A: 前期の国内設備投資はコロナ禍の影響もあり、大きく動いておりません。一方、中国の二次電池向けは活況でした。今期の中国の二次電池向けは、上期は堅調、下期は多少保守的とみております。

Q: 北米新工場 現在の準備状況

A: コロナ禍に加え、大寒波がテキサス州を襲い、当社北米工場の工事にも影響を受けました。そのため、当初の計画に対して若干遅れが生じています。

Q: 今期の設備投資

A: 今期75億円の多くは、機器事業への投資を予定しております。